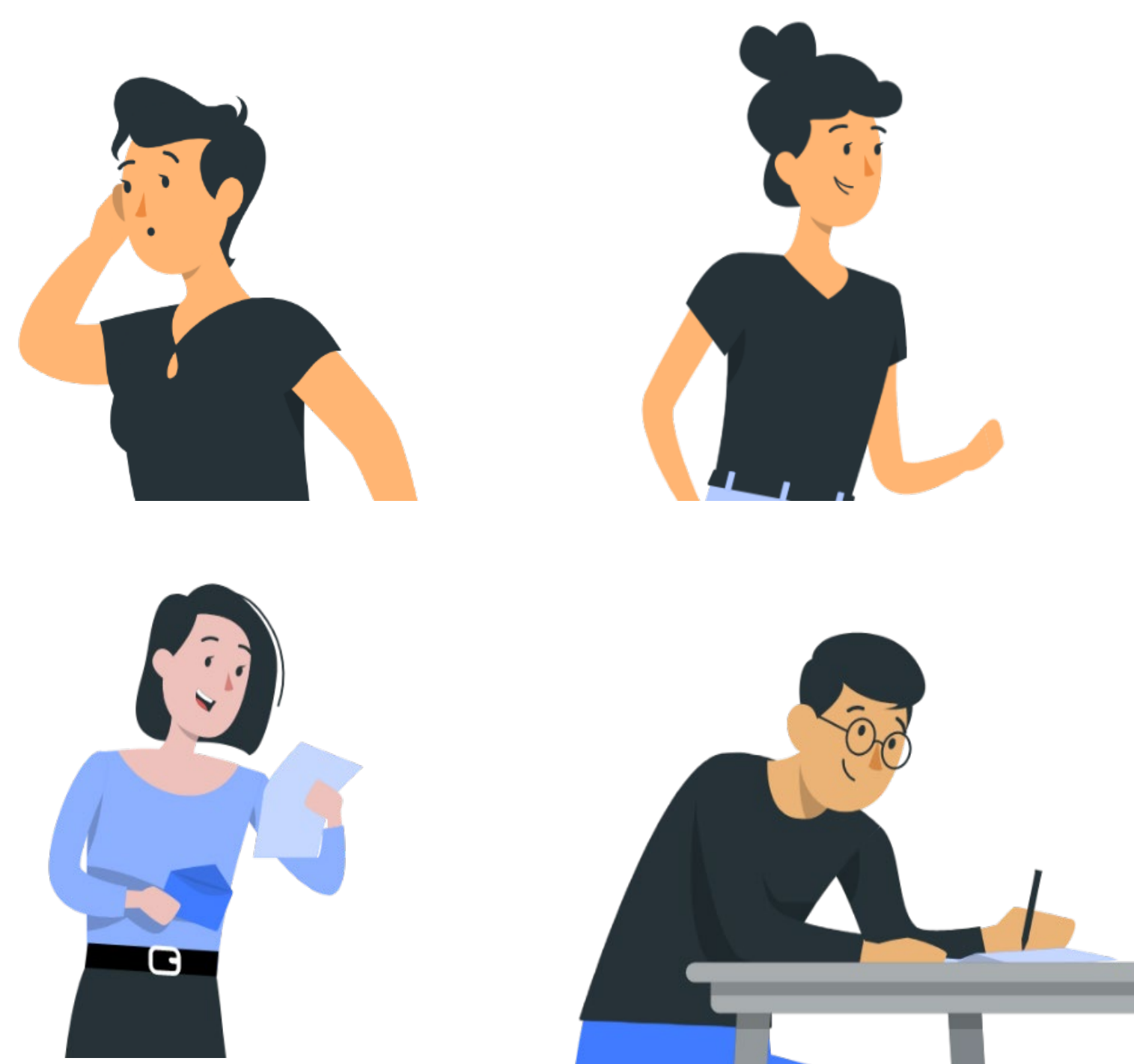


しつごしょう

失語症

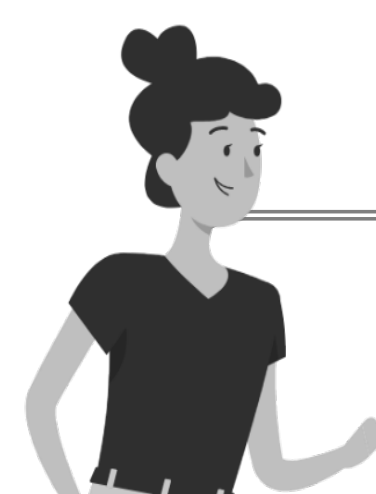


脳卒中や事故などで脳が傷つくことで起こる障害です。
「話す、聞く、読む、書く」ことが不自由になります。
言葉の困難さによって生活に大きな支障が出ます。

全国に20-50万人

大規模な実態調査は行われていませんが成人の200人に1人
程度の人が失語症がある状態で暮らしていると考えられます。

失語症で困ることの例



話す

役所や銀行の窓口で
伝えられなくて焦る

カフェで注文が難しく
ていつも同じもの



聞く

質問が早すぎて対応
できない

レストランで何を聞
かれているかわから
ないから、行きたい
気持ちがなくなる



読む

バスの行き先表示が
わからないので勘で
乗る

お知らせが貼り出し
てあっても内容がわ
からない



書く

メモが取れないので
忘れてしまう

単調なメールやスタ
ンプだけのLINEに
なってしまう

会話の工夫

失語症がある人の話したいことをじっくり聞くこと
わかりやすくゆっくり話すこと、会話の内容を丁寧
に確認すること、これらの工夫があると失語症が
ある人にとってわかりやすい話し方になります。
東京都と八王子市では、失語症がある人の活動と参加を
意思疎通の面で支援する、失語症者向け意思疎通支援者
の養成が行われています。



じっくり聞く

ゆっくり話す

丁寧に確認

八王子失語症サロン “ペチカ”

日時: 毎月第4日曜日10:00-11:30

会場: 八王子市北野市民センター 〒192-0906八王子市北野町5-4-5-3 きたのタウンビル 7階

問合せ先: 永生会失語症者向け意思疎通支援係 (ishisotsuu@eisei.or.jp)